

令和5年度 第2回北海道高等学校選抜登山大会 審査講評

1 体力

- ・チーム行動の結果は、別紙を参照すること。
- ・チーム行動における減点は、チーム内の間隔が開くことによる減点が最も多かった。また、息づかいが荒く減点されたチームがあった。チーム行動は規定時間内にCPに着けば、タイムによる減点はない。チームがそろってリズムよく登れるように練習して欲しい。

2 歩行

- ・スリップとバランスを崩すことによる減点が多かった。今後も多くの山に登って、経験を積んで歩行技術を向上させて欲しい。

3 装備

- ・行動中の装備では、帽子をきちんと着用していない減点が4チームあった。また、手に不要なものを携行している減点が1チームあった。
- ・定点装備審査では、地形図を全員が持っていないことによる減点が最も多かった。また、防寒具、医薬品の防水処置で減点が多かった。

4 設営・撤収

- ・「ポールをそのまま地面に放置」、「ザックが散乱」、「ザック雨蓋が開いている」、「テントを踏む」、「張り綱が地面に埋没する状態でペグが打たれている」などの減点が多かった。

5 炊事

- ・「火気使用時の手袋」、「コンロ台の設置」、「防腐対策」で減点が多かった。

6 気象

- ・返却された天気図を確認すること。

7 計画・記録

- ・記録書については、減点した項目を配付した。今後の参考にして欲しい。

8 行動中テスト

- ・返却された解答用紙を参照すること。

9 ペーパーテスト

- ・web ページで問題と解答を公開しているので参考にすること。

10 パーティシップマナー

- ・「テントの記名見にくい」、「ゼッケンが見にくい」、「ボールペンで記入していない」、「読図用地図に学校名が書かれていない」、「登山道上で休憩している」などで減点があった。

選抜登山大会は、全道の山岳部の選手及び役員（顧問）の登山技術向上が目標です。今回は審査結果をできる限りオープンにしました。もし審査に関する質問などがあれば、顧問を通じて登山専門部まで問い合わせてください。内容によっては、登山専門部で審議します。顧問の先生には、全員が役員としてご協力いただきました。今後も審査等に関しては、できる限り多くの顧問で実施したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。天気にもまずまず恵まれて、無事に大会が終了することが出来ました。選手及び役員の皆様どうもお疲れ様でした。

（文責 専門委員長 小池圭太）